

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2011年 10月 28日

| | | |
|-------------|-------|---------|
| 派遣者氏名（専門分野） | 中尾 恭三 | （ 西洋史 ） |
|-------------|-------|---------|

| | | | |
|------|--------------|---|--------------|
| 派遣期間 | 2011年 2月 15日 | ～ | 2011年 4月 16日 |
|------|--------------|---|--------------|

派遣研究機関

| 国 | 都市 | 訪問機関 |
|------|------|---|
| イギリス | ロンドン | Institute of Classical Studies Library Joint Library of the Hellenic & Roman Societies(Senate house) |

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

この図書館は、Institute of Classical Studies Library の Research Students として登録されるか、The Society for the Promotion of Roman Studies ないし The Society for the Promotion of Hellenic Studies 会員となることで利用可能である。非会員がビジターとして館内に入ることにはできるが、期間が 2 日間と非常に限られているため、日本からの訪問者には現実的な選択とはいえない。Research Students として受け入れてもらうには、指導教員からの推薦が必要である。会費は無料。しかし館内での閲覧に限られており、図書を借り出すことはできない。

他方で、Roman Society と Hellenic Society への入会には年会費が必要であるが、年刊誌の受領と組織が主催するレクチャーなどの行事に参加することができる。さらに、館内での閲覧に加えて、図書を同時に 4 冊まで借り出すこともできる。期限は 1 ヶ月。入会には、各組織の HP (<http://www.hellenicsociety.org.uk/>; <http://www.romansociety.org/>) からプリントアウトできる登録用紙が必要である。これに加えて年会費支払いのためのクレジットカード情報、推薦者の住所と直筆のサインが必要である。所属大学の身分証明もあれば望ましい。学生身分で登録するのであれば、推薦者は指導教員でなければならない。

必要事項を記入した登録用紙を Senate House 3 階にある Classical Studies Library の受付に提出すれば、その場で手続きをおこない入館用のカードを配布してもらえる。

リサーチ方法は通常の図書館利用と変わらない。学習用デスクと付属の電灯・電源は自由に使うことができるが、史料が配架されている部屋のデスクは史料を閲覧する場合のみ利用することができる。図書館は Senate House Library に含まれているため、書籍の検索は Senate House Library HP(<http://www.ucl.ac.uk/>) 上にある蔵書検索エンジン (<http://catalogue.ucl.ac.uk/search~S1>) を用いる。なお書籍・雑誌が e-resource として電子化されている場合は、会員としてログインすることで閲覧・ダウンロードすることができる。ほとんどの e-resource は図書館外からでもログインして閲覧可能であるが、まれに図書館内に設置された PC からでしか閲覧できないものもある。

複写機を使用するためには、受付でコピーカードを事前に購入しておく必要がある。Senate House Library には各階に複写機が備え付けられているが、3 階の Institute of Classical Studies Library にかなり旧式のものが 1 台しか設置されておらず、A4 までの複写しかできないため、利用には予想以上の時間がかかる。そのため常時混雑しており、複写は最低限に抑えたほうが時間の節約となる。